

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年 4月17日（水）

2 確認箇所

2号機タービン建屋

3 確認項目

2号機周辺海洋汚染防止対策の状況

4 確認結果の概要

原子炉建屋周辺では降った雨水がK排水路に入り込み、汚染水が増加、あるいは排水路から海洋へ汚染水が流出する原因となっている。この対策として、2号機タービン建屋下屋（げや）の屋上にある設備配管やルーフブロック等を撤去する工事が行われているため、工事の状況や放射性物質の飛散防止対策等について確認した。

- 作業前に飛散防止剤を散布して遊離性のダストを固着させる。（写真1，2）
- 作業終了後にも日々解体ガレキに飛散防止剤を散布する。
- 周辺に設置済みのダストモニタによりダスト濃度を監視し、作業を実施する。
- 飛散防止剤の散布は有人の大型クローラークレーンで行い、切断などは遠隔操作重機で行うとのことだった。（写真3）



（写真1）飛散防止剤散布の様子1



（写真2）飛散防止剤散布の様子2



(写真3) 遠隔操作重機での解体の様子

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。